

静岡市 不二見児童クラブ 古代体験レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年8月9日（木）



8月9日（木）静岡市不二見児童クラブの皆さんが来所し、展示室の見学と古代体験に挑戦しました。

事典や図鑑でしか見たことのないはじめて目にする本物の出土品に興味津々、展示ケースに身を乗り出して見学する姿も見られました。



古代体験では、テラコッタ粘土を使った「はにわ（土製品）作り体験」と「弓矢による狩猟体験」に挑戦しました。

はにわ作り体験

土製品とは、土製の素焼きの出土品です。縄文弥生時代には土偶や動物形や人面をかたどった土器や古墳時代の古墳上に並べられた埴輪（はにわ）が知られています。静岡県では西部、中部を中心に「馬」のような形の動物をかたどった動物型土製品や「人間」をかたどった「人型土製品」が発掘されています。いずれも祭祀（お祭り）に関連して作られたものではないかと考えられています。



弓矢狩猟体験

高温で焼かなくても素焼きの味わいのままに硬化するテラコッタ粘土を使って、土製品作りに挑戦しました。何を作ろうか迷いながらも、夢中になって取り組む姿が見られ、それぞれに思いのこもった個性的な土製品が出来上がりました。



狩猟の道具、弓矢を体験しました。簡単そうに見えてなかなか難しい弓矢。熊や猪に似せた的めがけて、弓で矢を射るのですが、矢が飛んでくれません。いつになったら獲物を射止めることができるのでしょうか？